

No.	推薦団体	氏名	年齢	性別	市町村名	功績等
1	県北地域連合会	さとうてるお 佐藤彰男	72	男性	二本松市	<p>・合併前から二本松市体育協会副理事長、理事長として二本松市の体育、スポーツの振興に貢献し、合併後も理事長、会長として常にリーダーシップを発揮し、また後進の育成に努め、市民の健康増進や各競技人口の拡大などに尽力しており、その功績は多大である。</p> <p>また、安達地方体育協会会長として2市1村のスポーツを通じた交流を大切にし、安達地方全体の競技力向上に尽力している。</p> <p>県北体育協会においても8年以上幹事を務め、その後副委員長として4年目を迎えるなど、県北地域のスポーツ振興にも大きく貢献していることなども含め、その功績を評価し、受賞候補として推薦する。</p> <p>○二本松市体育協会 会長 3年 ○二本松市体育協会理事長 11年 ○二本松市体育協会副理事長 4年</p>
2	県北地域連合会	ししどいちろう 宍戸一郎	70	男性	本宮市	<p>・合併前、本宮町の時代より体育協会副会長を6年間務め、合併後、本宮市となって以降も継続して副会長、平成20年からは会長の職に就き、合併後の本宮市全体のスポーツ関係団体等をまとめ、現在に至るまで継続して本宮市の体育、スポーツ振興に貢献している。市の体育協会会員として、競技力向上に尽力し、市の体育振興発展に寄与している功績は多大であるため、それを評価し、受賞候補者として推薦する。</p> <p>○本宮市体育協会 会長 7年 ○本宮町体育協会副会長 6年 本宮市体育協会副会長 1年</p>
3	県中地域連合会	わたなべのぶあき 渡邊信明	64	男性	須賀川市	<p>・平成12年から昨年度まで岩瀬ソフトボール協会会長を15年、須賀川市と岩瀬村・長沼町が合併した平成17年からは「須賀川市体育協会副会長」並びに「岩瀬体育振興会会長」を11年務めた。</p> <p>・地域スポーツのみならず、合併後の一体感の醸成に尽力し、須賀川市のスポーツ振興・発展に多大なる貢献をした功績は顕著である。</p> <p>○須賀川市体育協会 副会長 11年</p>
4	相双地域連合会	くさのきよたか 草野清貴	69	男性	相馬市	<p>・東日本大震災で各施設が破壊されてきたが、相馬市民の元気、勇気づけで行政とタイアップしてスポーツ施設を充実させた。観光産業は大打撃を受けて衰退したが、スポーツ観光で集客を目指し、復興の基礎を作り出した。</p> <p>・相馬市体育協会のリーダーとして長年貢献し、スポーツ人口を支えた。</p> <p>・福島県総合体育大会県民スポーツ大会相双地域大会では、被災した地域を支え、会長の任で相馬で2年連続大会開催など地域に尽くした活動は大変大きい。</p> <p>○相馬市体育協会 会長 4年 副会長 8年 ○福島県体育協会理事 2年(平成25. 26)</p>
5	会津地域連合会	いしだたすく 石田扶	74	男性	喜多方市	<p>・(財)喜多方市体育協会・(公財)喜多方市体育協会の役員(会長・副会長・理事)を26年にわたり務め、その間平成18年度の市町村合併に伴い、旧喜多方市・旧熱塩加納村・旧塩川町・旧山都町・旧高郷村の市町村体育協会の合併を平成20年度に達成した。また、平成25年4月1日に一般財団法人から公益財団法人の移行へも成功させた。さらに、事業面でも国内数カ所しか開催されない(公財)日本オリンピック委員会主催事業の「オリンピックデーラン喜多方大会」の誘致を成功させ、平成27年度で11回大会を数えるまでになった。また、「蔵のまち喜多方健康マラソン大会」の規模を拡大させることにも尽力し、「蔵のまち喜多方桜ウォーク」も県内最大規模の大会に成長させた。</p> <p>・市体協役員の他にも、慶徳町体育協会会長・喜多方市ソフトボール協会会長・喜多方ウォーキング会会長も長年務め、各団体の発展・各種目の普及振興にも努めた。このように、喜多方市体育協会ばかりでなく、喜多方市全体のスポーツ振興にも多大な功績を残した。</p> <p>○喜多方市体育協会 会長 6年 副会長 6年</p>
6	会津地域連合会	やざわのぼる 矢澤昇	67	男性	三島町	<p>・平成元年度から平成8年度の4期8年にわたり、三島町体育指導員としてスポーツ活動に携わり、町民の体力・健康づくりに尽力された。また、平成15年度より三島町体育協会役員として、会長および副会長を6期12年にわたり務め、平成26年度より両沼地区体育協会連合会副会長を歴任された。町スキークラブ指導員として、町の子どもたちや地域の方に対して、スキーの指導や滑る楽しさなどを教え、長年にわたり町のスポーツ活動に貢献した。</p> <p>○三島町体育協会 会長 6年 副会長 6年</p>
7	福島県野球連盟	えんどうきしお 遠藤喜志雄	69	男性	郡山市	<p>・県内7支部で組織する連盟の県中支部長、県の副会長として学童から一般社会人まで幅広いクラスの各種大会を開催することにより、青少年の健全育成や社会人の健康増進などに貢献した。また、福島県早起き野球大会や福島県少年野球選手権大会の県大会を毎年開催している。</p> <p>・郡山市と姉妹都市である福岡県久留米市へは毎年県中地区の学童チームを派遣し、野球を通じた交流事業に寄与した。</p> <p>・高校野球、大学野球など各種大会をはじめとして最近では、平成25年に第56回高松宮賜杯全国大会や平成26年に第41回東北総合体育大会軟式野球競技などの開催に尽力した。</p> <p>○福島県野球連盟 副会長 16年</p>
8	福島県テニス協会	くろさわあрами 黒沢新生	69	男性	福島市	<p>・福島県テニス協会の選手として東北総合体育大会に出場した。また、福島市テニス協会、県北テニス協会の理事長・会長として平成7年の福島国体では競技役員として活躍した。</p> <p>・昭和59年より19年間、県北テニス協会理事長、福島県テニス協会副理事長、そして、平成17年から現在まで10年にわたり県北テニス協会会長、福島県テニス協会副会長として福島県テニス協会の発展に尽力した。</p> <p>○福島県テニス協会 副会長 10年 副理事長19年</p>
9	福島県バスケットボール協会	うのしんいち 宇野伸一	75	男性	郡山市	<p>・昭和56年4月から平成2年3月までの9年間、県南協会の理事長を務めた。平成17年4月から平成27年3月まで、福島県バスケットボール協会副会長として、協会運営に携わった。県協会副会長、地区協会会長としてリーダーシップを発揮し、県南地区及び本県のバスケットボールの普及、発展に尽力した。また、福島国体では、総監督としてバスケットボール総合優勝を成し遂げた。地区協会会長、県協会副会長を長年務め、現在も精力的に協会運営に携わっている。本県のバスケットボールの普及、発展に対する功績は計り知れない。</p> <p>○福島県バスケットボール協会 副会長 10年</p>
10	福島県ボクシング連盟	さいとうたくお 斎藤卓夫	75	男性	福島市	<p>長年にわたり福島県ボクシング連盟会長を務め、競技団体の発展に寄与した。また、平成7年の福島国体では総合優勝を果たした。本県チームの支えとなった功績は顕著で、その後の連盟活動の基盤となった。</p> <p>○福島県ボクシング連盟 会長 28年</p>

No.	推薦団体	氏名	年齢	性別	市町村名	功績等
11	福島県体操協会	さいとう ひろし 斎藤 宏	73	男性	福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・長きにわたり、福島県体操協会の理事として運営に携わり、協会発展に尽力した。会長任期中には、県内で開催された各種大会において多大なる功績を収めた。特に、福島市で開催された東北総体では、企画・準備・運営にあたられ、大会の成功に尽力した。 <p>○福島県体操協会 会長 6年 副会長 6年 理事長 3年 副理事長 16年 名誉会長 平成27年～現在</p>
12	福島県スキー連盟	いがらし のりお 五十嵐 憲 雄	68	男性	猪苗代町	<ul style="list-style-type: none"> ・長年、猪苗代町から始まり全日本の競技スキーと教育スキーに尽力し、福島国体を始め全日本技術選手権スキー大会、ワールドカップモーグル大会、フリースタイル世界選手権大会などの大会運営にも携わり、福島県内のスキーの普及・振興に寄与した。 平成21年(公財)全日本スキー連盟指導員功労者表彰 名誉検定委員表彰 平成23年(公財)全日本スキー連盟指導員功労者表彰 競技スキー功労者表彰 平成27年(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者表彰 <p>○福島県スキー連盟 副理事長 14年 副会長 6年 公益財団法人全日本スキー連盟 教育本部副本部長(理事)</p>
13	福島県馬術連盟	たかひら ひろよし 高平 浩 美	70	男性	南相馬市	<ul style="list-style-type: none"> ・相馬農業高校時代、馬術部の設立に尽力し運営、昭和47年鹿児島国体、昭和49年茨城国体成年団体障害飛越競技で優勝を果たし、福島県馬術の実力を全国に知らしめた。また、優秀な選手も輩出し、特にバルセロナ、アトランタオリンピック、2大会出場を果たした木幡良彦選手や昭和60年、東京馬事公苑で開催された全日本高等学校馬術大会団体戦で準優勝をするなど指導力を大いに発揮した。その功績から平成15年度に理事長へ就任し、県馬連の運営に寄与した。 ・平成15年度より福島県馬術連盟の理事長として、原発事故により県外避難をする選手達の相談役、精神的なケアに努めるなど、会員の統率にあたった。また、浜通り地方の馬術会員は県外避難を余儀なくされたが、理事長自ら、連絡統率に尽力した。その積み重ねが、今年度の和歌山国体上位入賞へ大きく寄与した。 <p>○福島県馬術連盟 理事長 12年</p>
14	福島県山岳連盟	みもり かずお 三森 一 男	65	男性	白河市	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県山岳連盟では専門部委員長、事務局長、副理事長、理事長、副会長として長きにわたって活動してきた。また、日本体育協会より平成22年国体特別功労賞、平成23年公認スポーツ指導者表彰を受賞した。 ・指導者として県総体、東北総体、国体等で活動し、役務を担ってきた。この間、秋田国体、東北総体等では審判長を務め競技登山の普及に貢献した。また、白河地域の登山活動の普及や山岳遭難民間救助隊員としても貢献した。 ・海外遠征登山においても、中国チベットの未踏峰(甲格宗峰)、モンゴルアルタイ山脈スフバートル峰等の隊長を務めて成功に導いた。 <p>○福島県山岳協会 副会長 7年 理事長 2年 副理事長 6年</p>
15	福島県なぎなた連盟	いがらし よし 五十嵐 義	82	男性	会津若松市	<ul style="list-style-type: none"> ・福島国体時、会場校(若松第二中学校)校長として、円滑な国体運営ならびに会場校での強化練習等に協力した。国体翌年には福島県なぎなた連盟副会長として、宮森前会長を支え「全国中学校大会」「全国福祉祭ねりんピック」を成功に導いた。 ・平成20年からは「会津なぎなた連盟会長」ならびに「会津なぎなたスポーツ少年団団長」としても、競技人口の拡大を図るべく、会員の募集や授業への導入に各校長へ積極的に働きかけた結果、会津若松市内4校の授業実施を実現させた。また、活動の積み重ねにより、今年度も140名のスポーツ少年団員を確保できた。 <p>○福島県なぎなた連盟 副会長 19年</p>
16	福島県オリエンテーリング協会	いちかわ きみお 市川 公 男	68	男性	二本松市	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や県内各地でオリエンテーリング大会を開催するなど、多くの実績を残しており、オリエンテーリングの普及活動に大きく貢献したほか、数多くの指導員の育成に当たるなど、技術力の向上にも努めた。また、昭和53年から県オリエンテーリング協会の役員として在職し、組織の充実・発展に大きく貢献した。 ・東日本OL大会(昭和55年、平成14年)、全日本OL大会(平成元年、平成27年)、全日本ルー・OL大会(平成8年)、公認FTV大会(平成11年)、公認あだたら高原2日間大会(平成21年)など、全国規模大会の誘致、大会運営に尽力し成功に導いた。 ・昭和53年から県オリエンテーリング協会役員として県内ばかりでなく国内のオリエンテーリングの普及・発展に尽力し、競技力向上と協会の発展に大きく貢献した。特に、理事長に就任した平成9年以降、全国規模の大会を数多く誘致し、成功に導いたことは全国でも高く評価されている。 本年、3期6年間務めた会長職を辞し、後進に道を託したことから、これまでの功績を讃え、本表彰の候補者として推薦する。 <p>○福島県オリエンテーリング協会 会長 6年 副会長 2年 理事長10年</p>
17	福島県綱引連盟	せきね あつみ 関根 篤 實	68	男性	須賀川市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成5年から福島県綱引連盟理事就任以来現在まで、競技の普及発展に尽力した。平成18年から理事長として、また、平成24年からは副会長として組織の強化発展に寄与し、現在に至る。 ・「第68回全国レクリエーション大会2014福島」綱引競技では大会副実行委員長として大会成功へ導いた。 <p>○福島県綱引連盟 副会長4年 理事長6年 副理事長2年</p>